

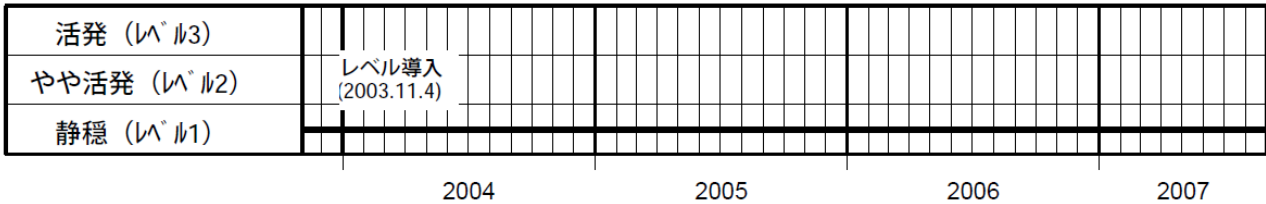
雲仙岳

○ 火山活動評価：静穏な状況（レベル 1）

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

2003 年 11 月 4 日のレベル導入以降、レベル 1 が継続しています。

火山活動度レベルの推移



・ 噴煙活動（図 2）

噴煙は白色、ごく少量で高さの最高は 10m と低調に経過しました。

・ 地震、微動活動（図 2、図 3）

火山性地震は少ない状態が続いています。火山性地震の震源は 1 個決まり、平成新山から南西 8 km 付近でした。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 4）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

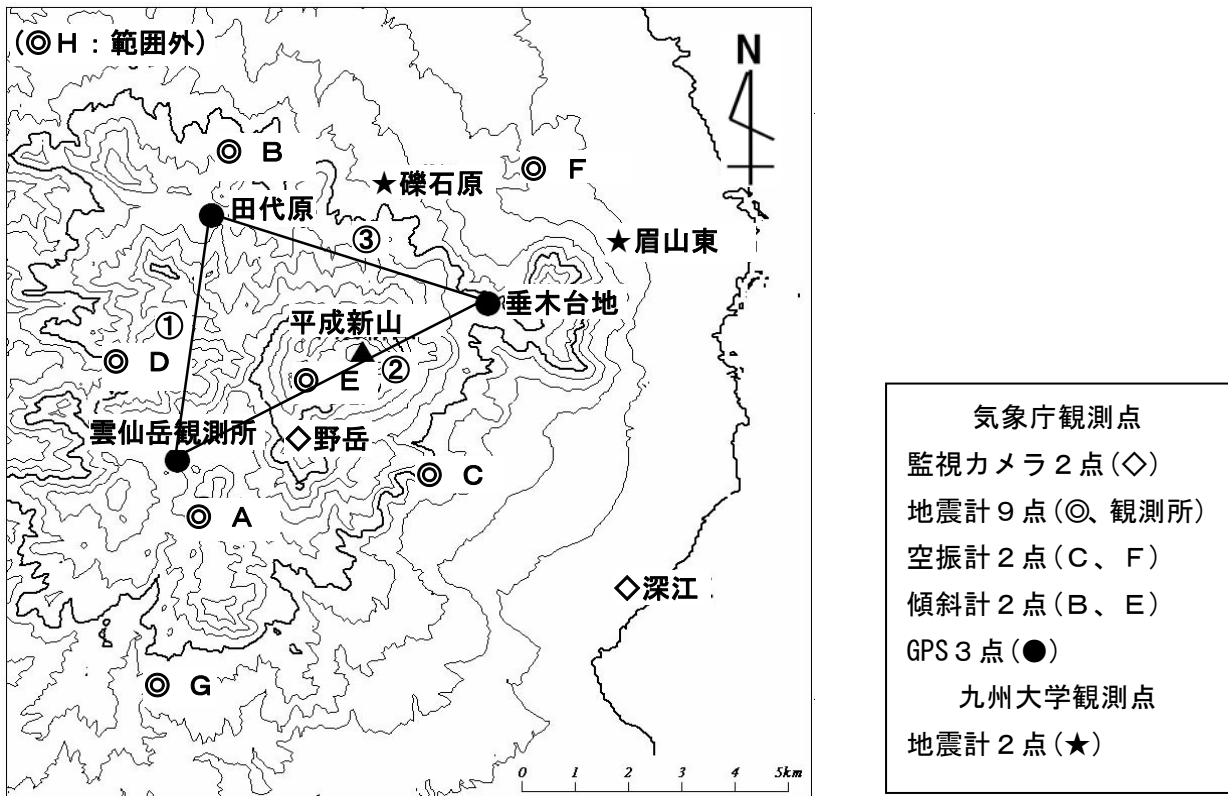


図 1 雲仙岳 観測点配置図

※この資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、九州大学のデータを使用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用していません(承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

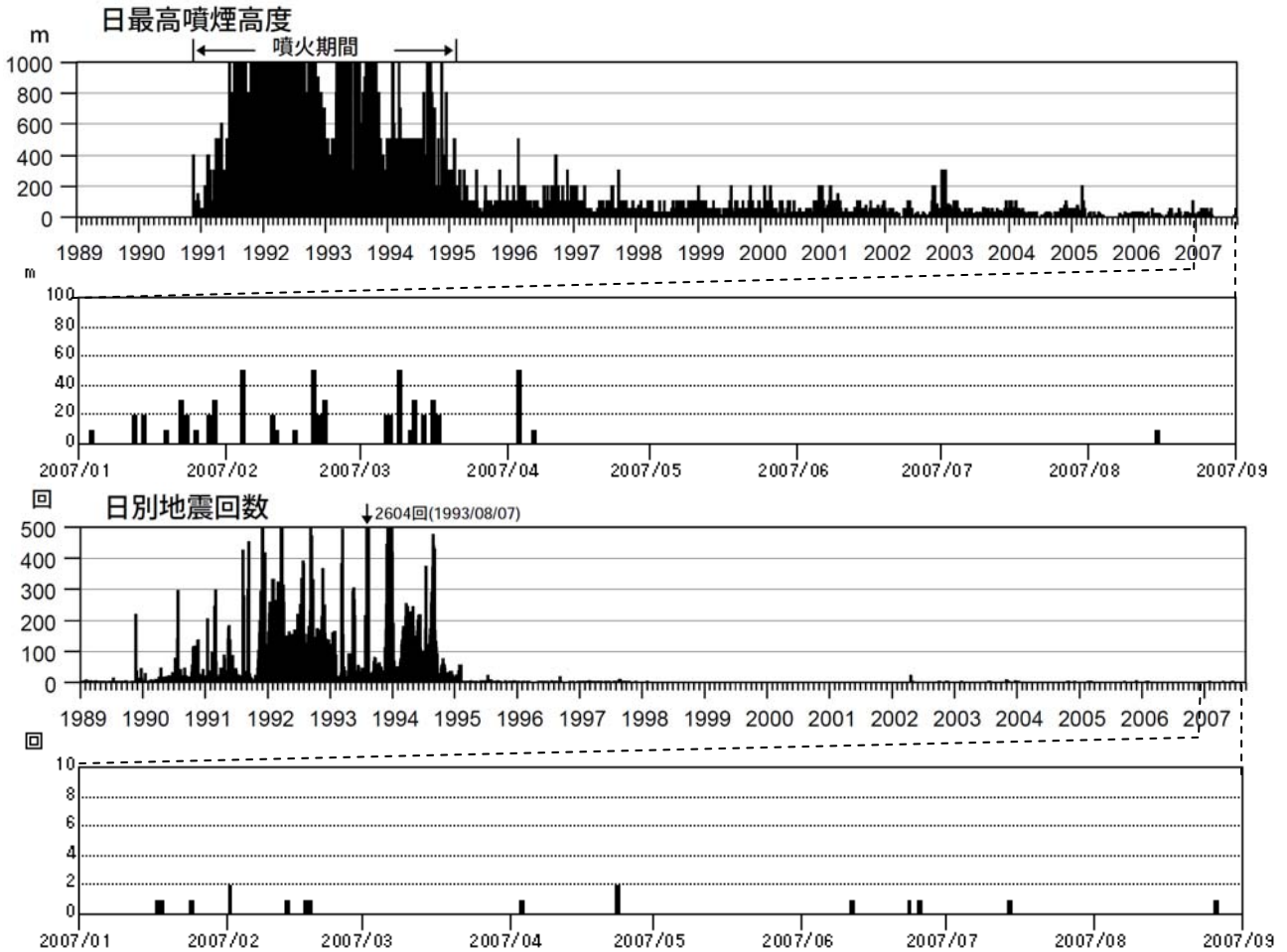


図2 雲仙岳 火山活動経過図(1989年1月～2007年8月)

- ・遠望観測で噴煙の高さの最高は10mでした。(7月：なし)。
- ・火山性地震を1回観測しました(7月：1回)。

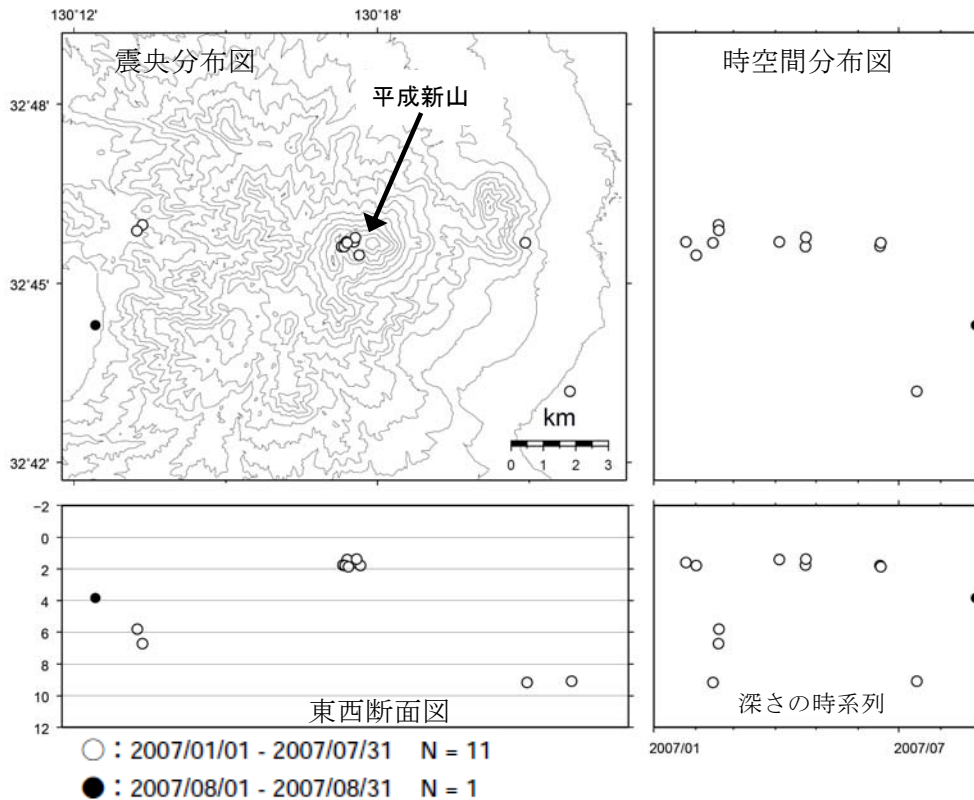


図3 雲仙岳 震源分布図(2007年1月～2007年8月)

火山性地震の震源は1個決まり、平成新山から南西8km付近でした。

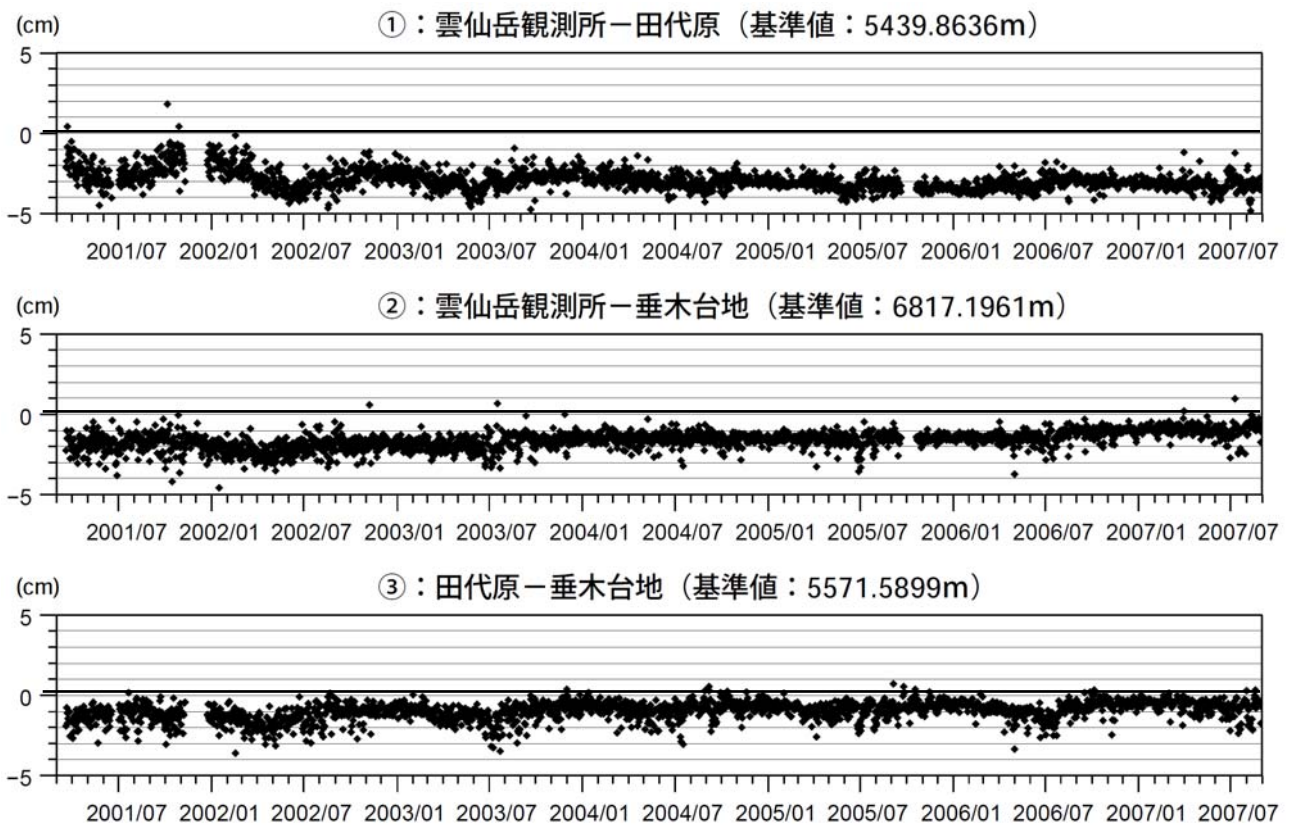


図4 雲仙岳 GPS連続観測による基線長変化(2001年3月20日~2007年8月31日)
火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。